

今日の道徳科の時間

みんなが気持ちよく

教材「雨のバスでいりゅう所で」

4年

この教材は

児童と同じ年頃の女の子「よし子」が、雨の日に、母親とバスで出かけることとなるが、バスに乗車する順番のことで、問題が起こります。軒下でバスを待っているとき、バスが到着したとき、母親から連れ戻されます。「なぜだろう」と思っているよし子の気持ちに共感させながら、約束やきまりについて考えさせていきます。

状況に応じてきまりを守らないと誰かが困ったり、迷惑を被ったりすることを理解して、周りの人のことを考えて約束やきまりを守ろうとする態度を育てていきます。

育てたい子どもの心



自分のことしか考えず、周りの人にいやな思いをさせてしまったかな。



約束や社会の決まりの意義を理解して、それらを守ろうとする気持ちをもち実践しよう。



みんなが気持ちよく過ごすために、大切なことは何か、かんがえよう。

子どもの心を育てるために

- 自分の周りあるきまりや約束事について思い起こします。
- ワークシートに考えを書くことによって、より深く考えさせます。
- 話し合いをすることで多様な考えに気付かせます。
- 自分の体験や経験を振り返ることできまりや約束事の意義について考えさせます。

学習の流れ

- ① 自分の身の回りにあるきまりや約束事について、思い起こします。
- ② 教材を読んで、よし子の心の動きについて考える。
- ③ 自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりする。
- ④ 自分の体験や経験を振り返り、きまりや約束事の意義について考える。



道徳地区公開講座週間 4年生

みんな気持ちよく
教材 「雨のバスでいりゆう所で」

みんなが気持ちよく過ごすために大
切なことは何か考えました。



ルールでなくても、しては
いけないことはしない。

ぬかしたりしないで、周りの
人のことも考えて行動する。
自分のことばかり考えないこ
とが大切だと思う。



その場、その時のルールや決
まりを守ることが大切だと思
いました。自分でも無意識の
うちにめいわくをかけたりす
る行動をしてしまわないよう
によく考えて行動しようと思
いました。

